

# 略歴表

2015年7月1日現在



©青木優佳氏

氏名	藻谷 浩介 (もたにこうすけ)	
生年月日・出身	1964年6月18日生まれ (51歳)、山口県周南市(旧徳山市)出身	
現職	(株)日本総合研究所 主席研究員 (株)日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問 (非常勤) 特定非営利活動法人 ComPus 地域経営支援ネットワーク 理事長 (無報酬)	
学歴	1983年	山口県立徳山高校 理数科卒業、東京大学 文科I類入学 → 88年法学部私法コース卒業
	1994年	米国 NY 市 コロンビア大学経営大学院 (ビジネススクール) 卒業 (経営学修士=MBA)
職歴	1988年	日本開発銀行(=現(株)日本政策投資銀行) 入行 (→2011年末まで正社員として在籍)
	2012年	(株)日本総合研究所 主席研究員 (株)日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問 (非常勤・現職)
(うち派遣・出向)	1992年	米国 NY 市 コロンビア大学経営大学院 留学 → 94年卒業
	1994年	(財)日本経済研究所調査局 研究員 → 97年出向解除
	2009年	DBJツカガポール(株)シニアアドバイザー - 兼 IE Singapore パートナー → 10年出向解除
兼職活動	2000年～	内閣官房、内閣府・国交・農水・総務・厚生労働・財務・経産・文科省等の各種審議会委員多数 立教・法政・山梨学院・青森公立大学等の非常勤講師、区立駒場小学校 2008年度 PTA 会長
	現在	NPO 法人 ComPus 地域経営支援ネットワーク理事長、(公財)LABO 国際交流センター理事 等多数
特技・余技	日本地理	平成合併前 3,200 市町村の全てを、おおむね自費にて巡歴 → 地形・交通・産業・人口動態・通勤通学動態・郷土史等を詳細に把握
	世界地理	海外 72ヶ国を、おおむね自費にて巡歴 (特に米国については 50 州全てを訪問)
	自転車	北海道・本州・四国・九州の各東西南北端をつなぐ形で、平成合併前市町村の 46%を走破
	鉄道	国内の定期運行の鉄軌道(JR・民鉄・公営交通)の全線を完乗
	ビジネス	英会話、ファイナンス・マーケティング、交渉術、プレゼンテーション(日本語・英語)、経営戦略、統計
情報発信活動	著作	しなやかな日本列島のつくりかた [新潮社 2014年] (対話集 2 万部) 里山資本主義 [角川 One テーマ 21 2013年] (共著 40 万部、新書大賞 1 位、ベスト経済書 9 位) 金融緩和の罠 [集英社新書 2013年] (共著 2 万部) 藻谷浩介さん、経済成長がないと僕たちは幸せになれないのでしょうか? [学芸出版社 2012年] (共著 1 万部) デフレの正体 [角川 One テーマ 21 2010年] (単著 50 万部、新書大賞 2 位、ベスト経済書 3 位) 実測! ニッポンの地域力 [日本経済新聞出版社 2007年] (単著 3 万部) 中心市街地活性化のポイント [ぎょうせい 2001年] (編著) 海外の中心市街地活性化 [日本貿易振興会 2000年] (編著)
		*** その他、一部執筆分担として ***
		もう東京はいらない [日本経済出版社 2015] 消滅してたまるか! ~品格ある革新的持続へ [文藝春秋 2015] 自民党国家戦略本部編 日本未来図 2030 [日経 BP 2014] 知られざる日本の地域力 [今井書店 2014] エネルギーから経済を考える [合同出版 2013] パブリック大論争 [文春新書 2012] リーディングス格差を考える [日本経済新聞出版社 2008] 地方を殺すな! [洋泉社 MOOK 2007] 日本の論点 2008 [文藝春秋 2007] 実践! 地域再生の経営戦略 [きんざい 2004] 団塊世代の定年と日本経済 [日本評論社 2004] クラスター戦略 [有斐閣選書 2002] 自立する地域 [ぎょうせい 2000] IT 革命とモバイルの経済学 [東洋経済新報社 2000年] 等
	連載	書評(毎日新聞)、「寒風温風」(北海道新聞)、「提論」(西日本新聞)、「耕土興論」(十勝毎日新聞)、「論点」(日本農業新聞)「現智の人」との対談シリーズ(新潮 45)を不定期連載中 過去に「意外に強い地域の實力」(朝日新聞 be 土曜日青版 2008 年度、全 50 回) 「実測! ニッポン経済」(週刊エコノミスト 2005.10.3 号より 1 年間、全 50 回) 「全国まちづくり行脚」(月刊石垣 2005.6 月~2007.11 月号、全 30 回) 「巻頭言」(内閣府「共同参画」)、「客論」(宮崎日日新聞)、「随想」(全国商工新聞) 等
	登壇	登壇および番組出演 累計 5000 回程度 (うち 2014 年度 530 回超) テーマ: 人口成熟問題、中心市街地、産業振興、市町村合併、地域金融、観光振興、地域再生など
ものを考える際の信条	① 絶対数/実例/地理歴史から帰納した仮説を、基本的条理からの演繹と照合、現実の構造を把握する ② 常識は疑い、慣用語は用いず、先入観は排し、反証のある社会通念や各種主義主張には従わない ③ 権力欲、他人や他国への優越感/劣等感、学歴/学術/技術信仰、安易な保守/革新指向を排する ④ 議論・発言の中で臆さず自説を示し、間違っていた場合には悪びれず偉ぶらずすぐ修正する	

## (ご参考) ピラ等に掲載される際の略歴要約の例

山口県生まれの 51 歳。平成合併前 3,200 市町村のすべて、海外 72ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。2000 年頃より、地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。2012 年より現職。近著にデフレの正体、第七回新書大賞を受賞した里山資本主義(共に角川 One テーマ 21)、金融緩和の罠(集英社新書)、しなやかな日本列島のつくりかた(新潮社、7 名の方との対談集)。